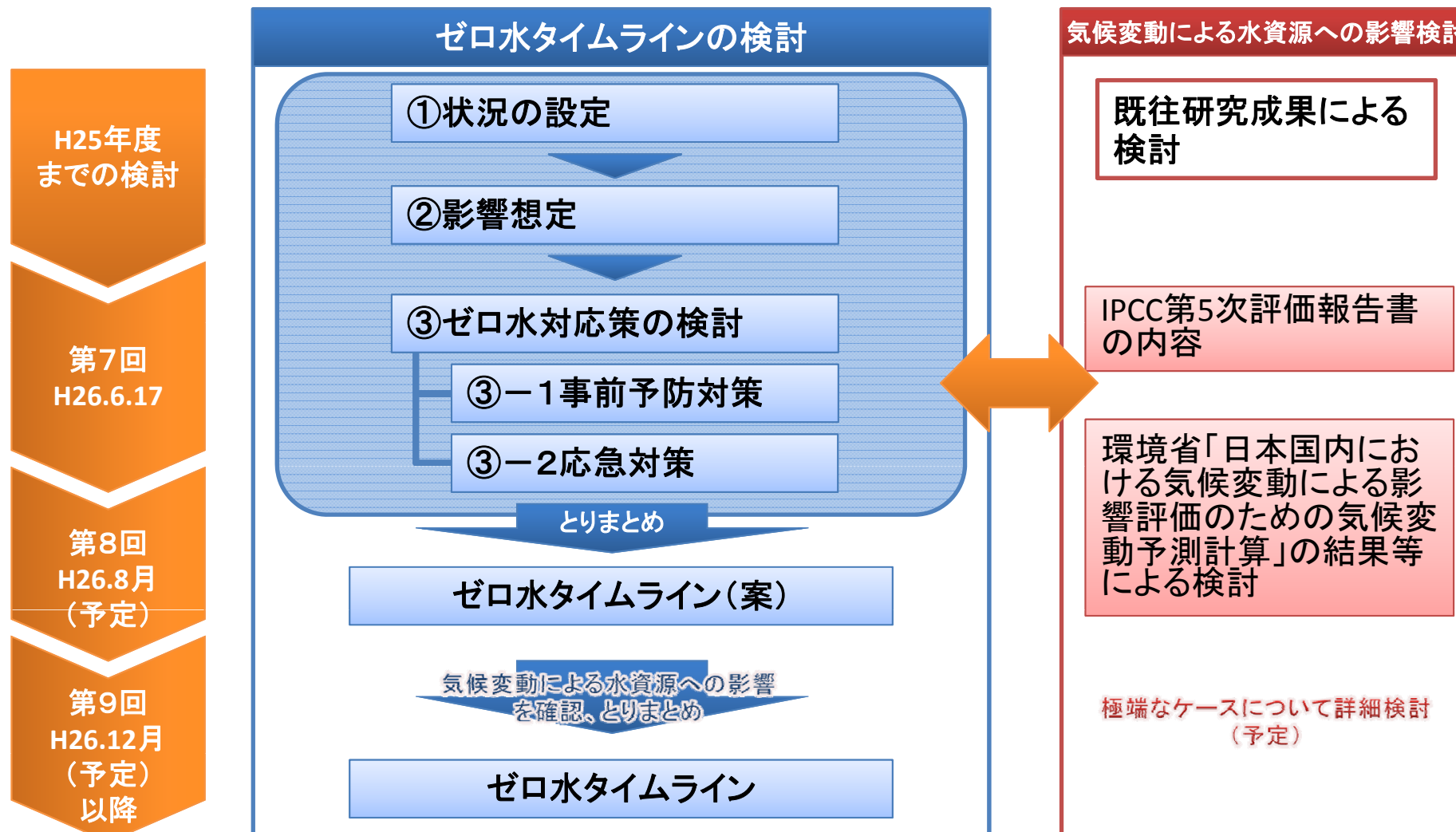


本検討会では、秋までにゼロ水(危機的な渇水)タイムライン(案)を作成することを目途とする。
また、上記検討にあたっては、最新の研究成果(IPCC第5次評価報告書で用いられた最新のシナリオ(RCPシナリオ))等を用いて、気候変動による水資源への影響を検討する。



第6回検討会での委員意見

○ゼロ水(危機的な渇水)への対応 ゼロ水シナリオの設定

意見

- 各自治体がゼロ水シナリオを検討することで、地域的な問題点、見落としとしてはいけないシグナル等がわかる。渇水解消時期が不確実な状況での判断、必要な情報、情報の入手先等の体制を普段から準備しておくべきである。
- 状況の設定について、最悪シナリオを考えると、蓋然性の確認は重要であることから、今後もきちんと整理する必要がある。



対応方針

- ・ 過去の渇水実績の記録を整理し、検討し、ゼロ水タイムライン作成の留意事項としとりまとめます。
- ・ 現実的に想定される範囲内で最悪となるシナリオを検討します。
- ・ シナリオ設定の際には実績降雨を用い、根拠を明確とし、蓋然性を担保するよう整理します。

第6回検討会での委員意見

○ゼロ水(危機的な渇水)への対応 渇水の進展に伴う影響項目とその状況設定

意見

○ゼロ水の対策を検討するにあたって、広域的な影響の想定が必要である。

○停電による断水による影響についても整理すると良い。



対応方針

- ・ 単一の流域のみではなく隣接する流域もゼロ水に至るケースを想定し緊急給水等、どこまで広域的な影響を想定するか整理し、広域的な影響と対応をゼロ水タイムラインに盛り込みます。
- ・ 計画停電による水道への影響と対応について、事例を整理し参考にしました。

第6回検討会での委員意見

○ゼロ水(危機的な渇水)への対応 ゼロ水発生タイムライン

意見

○ゼロ水シナリオには、「時間」も重要なファクターである。ゼロ水が終わるタイミングの設定も必要である。



対応方針

- ・ ゼロ水から回復する降雨シナリオを検討し、ゼロ水タイムラインにゼロ水の解消も含めとりまとめます。